

ふかだ  
**深田のぼる** 後援会ニュース

第13号 2015年8月 発行

# 高尾山古墳の保存と沼津南一色線の整備 ～皆様はどう考えますか？～

昭和36年より計画していた道路の工事を始める前の発掘調査で、東日本最古級（卑弥呼と同時期）の古墳が見つかりました。道路と古墳の両立をめぐり、全国的にも注目を浴びています。

## ● 高尾山古墳の様子



平成21年撮影の高尾山古墳（※1）

## ● 古墳周辺の道路状況



通学・通勤時間帯の様子



ひどく渋滞する車の合間をぬって、毎朝800人を超える小中学生や、多くの高校生・社会人が通行しています。

## ● 古墳存続と道路建設に関する声



### 【古墳保存を求める声】

- 古墳の解体について、市民を対象にした説明の場が設けられていない。
- 現状のまま古墳を存続させるべき。

### 【道路整備を求める声】

- 周辺道路の混雑解消のため、多くの住民が転居し、神社も移転した。
- 交通事故も多発している。安全の為に、一刻も早い道路整備を。

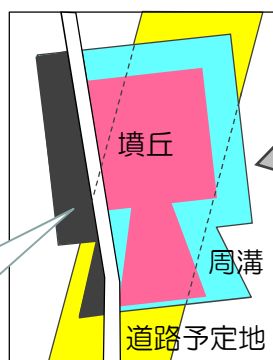


## ● 現存する古墳と道路を両立させるための検討（※2）

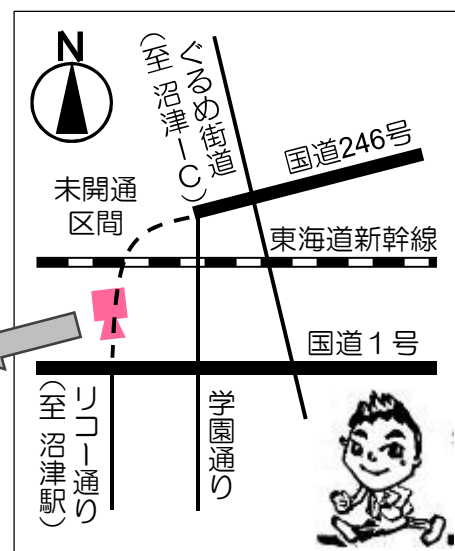
古墳から道路を迂回する案や、古墳の上や下に道路を通す案など、現存する古墳をそのまま残した形での道路建設が行えないかの検討がされました。

カーブや勾配がきつすぎるなど、道路建設の際に守るべきルール（道路構造令）を満たす案がありませんでした。

古墳の西側を走る道路などにより、現状でも3割程度 of 古墳が失われています。（高尾山古墳の様子の写真参照）



古墳と道路の重なり



高尾山古墳周辺の地図

※1 高尾山古墳の現状 … 現在は古墳全体が緑に覆われており、平成26年実施の追加調査で墳丘に掘られた1.5m幅の溝や古墳の周囲には、古墳の崩れを防ぐための土のうが積まれています。墳丘中央には戦時中に掘られた防空壕が残っており、今でもその痕跡を見ることができます。

※2 両立に向けた検討 … 古墳の歴史的価値および、道路の混雑解消や住民の安全確保など道路建設の必要性を踏まえた、古墳と道路を両立させるための検討です。

## ● 古墳を最大限残すための検討

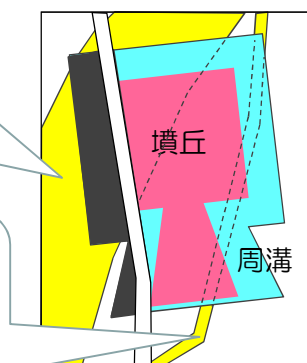
道路構造令を守りつつ、古墳を最大限残す形に路線を変更する検討もされました。



路線を変更しても残る古墳はわずかで、墳丘の形は残りません。かつ宅地を含む、多くの新たな用地取得が必要になります。

古墳周辺は住宅が密集しており、路線上にも多くの建物があります。

出来るだけ古墳を残すため、下り車線の歩道を古墳の東側に回しています。



古墳を最大限残す案

## ● これまでの経緯と今後の予定

年月日	内 容
S36.7	沼津南一色線が都市計画決定される。
H9.2	事業認可され、用地買収開始。
H20～21	発掘調査を実施し、極めて古い前方後方墳であることが判明。
H21.9	古墳の歴史的価値や保存方法が明確となるまで発掘調査を中断することを市が表明。
H26.5～7	年代特定のため、市が追加の発掘調査を実施。
H26.8	「230年築造250年埋葬」との調査結果を市が公表。
H26.9	岡宮自治会から市へ「道路の早期開通を求める」陳情。
H27.2.13	市から県へ「道路建設を進めるために発掘調査を行いたい」旨の通知を提出。
H27.3.31	県（国）から市へ「残せるものは極力残す中で工事を進めても良い」旨の通知。
H27.5.22	日本考古学協会より「古墳の保存を求める」声明発表。
H27.5.28	市長記者会見「発掘調査しながら古墳を取り壊し、道路建設を進める。」
H27.6.2	東熊堂地域から市長へ「道路の早期建設を求める」要望書を提出。
H27.6.9	市が議会に高尾山古墳埋蔵文化財発掘調査費5,100万円を含む、平成27年度一般会計補正予算（第1回）の議案を提出。
H27.6.16	3つの市民団体が沼津市議会に「高尾山古墳の存続について」の陳情を提出。
H27.6.21	静岡県考古学協会より「古墳の保存を求める」声明発表。
H27.6.23	沼津市議会への陳情を審議する審査会を開催。
H27.6.24	一般会計予算決算委員会での審議。→発掘調査費予算を可決すべきと決した。
H27.6.30	本会議で採決の結果、補正予算が賛成多数で可決。市長記者会見「予算の執行は一時保留し、県・国・市、中立的立場の学識経験者による協議会の設置を検討。」
H27.9.3	「高尾山古墳保存と都市計画道路（沼津南一色線）整備の両立に関する協議会」の第1回会議開催。（年3回程度の開催を予定）

当日の申込で傍聴できます。

## 深田のぼるよりひとこと

私は「当初計画通りの路線で道路整備しつつ、出土品を展示する施設を備えた新たな公園を整備し、そこに古墳を復元する」形の両立が良いと考えています。皆様のお考えがありましたら、是非お聞かせ下さい。9/3(木)以降、国・県や民間の学識経験者で構成する協議会が開催され、両立について話し合われます。ご注目下さい。

ご意見・ご要望がありましたら、後援会事務局までご連絡ください。

